



## あけましておめでとうございます

1月6日、今年度の成長を次年度につなぐ「発展期」の3学期がスタートしました。新執行部がおみくじと獅子頭で、また、2年土屋優心さんの毛書「迎春」が玄関に掲示され全校生を出迎えました。1枚1枚のおみくじには心のこもった文が書かれており、全校生は新年を温かい気持ちで迎えることができました。新執行部のみなさん、準備ありがとうございました。



## 始業式

式辞では、今年の干支は「癸卯<sup>みずのと</sup>」で、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年であること。「個」と「強」を意識し、個々が持っている良さや強みを発揮して努力を重ねていこうと呼びかけ、3学期、そして、来年度へ向けて意欲づけました。

各学年代表が、3学期の抱負を堂々と述べました。3名の決意を紹介いたします。



一年生は中学校三年間の生活態度や勉強など、様々な場面での土台となる学年と聞いたことがあります。土台とは、学校生活の基礎となる大事なものです。私達一学年は、まだまだ未完成な土台を残りの三学期で仕上げなければならないと思います。私は、完璧な土台を作るために、次のようなことに力を入れていこうと考えました。

まず、生活面では、「当たり前なことを当たり前にする」という習慣を身に付けることです。ルールやマナーを守ることはもちろん、提出期限を守ること、時間を守ること、中学生として恥ずかしくないよう、場に応じた言葉遣いをするなど、これらは一般的なことなので、当たり前にしちんとしたいです。その第一歩が、学年の課題でもある「挨拶や返事」だと思っています。学年の一人一人が、当たり前にする習慣が身に付けば、学年としてもさらに良い雰囲気が高め合うことができ、同時に大事な「土台」の完成にも近づけると思います。

次に力を入れることは、学習です。まず、毎日の授業に「分かっていく気持ち」をもって臨みたいですね。知らなかったことを知ったり、分からなかったことが分かるようになっていくことはとてもすごいことだと思います。また、毎日のテキスト学習や宿題もきちんと進めたいです。しなければいけないことを、やらされていると思うのではなく、自分の未来を作ってくれるものと考えれば、これほど頼もしいものはありません。一年生で得た知識が高校受験の問題に出たり、それが合否につながったりすることもあると思います。だから、いつかは向き合わなければならない勉強を、嫌だと言って逃げるのではなく、自分から向き合っていきたいです。学習は、基本的に一人で行うものですが、三年生の先輩方が言っていた「受験は団体戦」のように、一年生でも、時には互いの長所を生かして授業の中で相談したり、話し合ったり、勉強を教え合ったりして、お互いに成長していきたいです。今日から始まる三学期、私達一学年が登校する日数は48日間です。あっという間の三学期、有終の美を飾れるように、「当たり前なことを当たり前にする」「きちんと学習と向き合うこと」この2つを大事にして生活していきます。そして、一年生のうちにできる、「最高の土台」を作っていけるよう、頑張ります。

1学年代表 安達 優姫



いよいよ今日から3学期。今年もよろしくお祈りします。

年明け早々、3年生の皆さんは私立高校の推薦入試が始まり、進路の実現を目指し、真剣に学習していることと思います。2年間様々な場面でお世話になった先輩方に、今、私たちができることは、応援することはもちろんですが、学習しやすい環境を作っていくことが重要です。具体的には、手洗い・うがいを

徹底し、コロナやインフルエンザにかからないこと、校内で行う様々な活動のときに3年生の邪魔にならないようにすること、2学年も授業に集中し学力の向上を目指していくことなどです。「受験は団体戦」という言葉をよく聞きますが、私たちも先輩方と一緒に、1年後の自分たちの姿を想像しながら生活していきます。



今学期は私たちにとって、とても大切な学期です。3月に卒業を迎える3年生の先輩の思いや、これまで繋げてきた伝統を私たちが引き継がなければならないからです。また、先輩方がいてくださる今だから、自分のしたいことを思う存分楽しみながら活動をして春を迎えたいとも考えています。

私たち2学年は、先生方からよく、「明るく元気で、学ぼうとする気持ちは持っているけれども、表現する力が足りない」、と言われるます。確かにこれまでを振り返ってみると、挨拶の声が小さい、反応が薄い、授業中の発言が少ない、意見を出し合えない、などという課題がありました。

けれども、12月8日に行われた生徒会役員選挙では、立候補した人、責任者になった人、応援した人、それぞれの立場で、すべきことを一生懸命した結果、自分の考えを持つことができる学年、意見を言い合える学年に変わり、少しずつ自信がついてきました。自分たちの可能性を広げるためにも、色々なことに挑戦し、お互いを認め合っていこうと思います。

3学期は、2学年が先頭にたって赤中を引っ張っていく場面、例えば、授業、部活動、挨拶、清掃など、日常生活のなかにいくつもあります。私たちは後輩から「あんな先輩になりたい」と思われるように、「Grow up～成長する2学年」を目標に、一人ひとりが3年生になるという自覚を持ち、令和5年度へつなげていけるよう歩んでいきます。

2学年代表 歌丸 一花

全校生のみなさん、あけましておめでとうございます。ケガや病気など無く、しっかり勉学に励む事ができたでしょうか？私は正直、年末年始に気が緩んでしまったように思います。受験生として恥ずかしいですが、また気合いを入れ直して頑張っていきたいです。私が今日話しをすることは2つあります。



1つ目は「今日頑張ること」です。明日から、明日から、と色々な事を先延ばしにしていますか？私は、これまで先延ばしにし続けて今に至っています。あの時先延ばしにせずにワークやプリント、宿題をやっていたらよかった、という後悔があります。私の好きな言葉に「明日から頑張るんじゃない。今日、今日だけ頑張るんだ！今日を頑張った者、今日を頑張りはじめた者におのみ明日が来る」というものがあります。これは、私が好きな漫画「賭博破戒録カイジ」に出てくる大槻、又の名を「ハンチョウ」という、私が人生の先生にしたいと思う人が言っている言葉です。「今日から頑張る」と聞くと継続することが面倒だと思ってしまう人もいませんか。しかし、「今日だけ」です。今日だけ頑張ろう、今日だけ頑張ろう、「今日だけ頑張る」が積み重なり、長い期間頑張ることができ、明日が変わって行くと思います。明日から変えるのではなく、今日少しだけひと踏ん張りしてみませんか？もしどうしても力が出ない、何もしたくない、そう思ったらこの言葉を思い出して欲しいと思います。

2つ目は「生活リズムに気を付ける」です。雪も降って寒くなり、そろそろインフルエンザも流行り始めると思います。もちろんコロナもそうです。我々三年生は本当に、本当に気を付けなければいけません。そこで、コロナに負けない体作りの一つに、生活リズムを私は挙げます。おそらく保健委員会からも生活リズムカードが配布されると思いますが、その期間中だけでなく、毎日心がけることが大事になってくると思います。もし、継続が難しい人がいれば私が1つ目にお話した、「今日だけ頑張る」ことを意識してみてください。一、二年生は健康第一、三年生は健康、勉強第一で過ごしていきたいと思います。

コロナで入学式が延期、延期になった私たちも、もう受験生です。一般入試や、推薦など様々な形で受験をし、また頑張り方も人によって異なると思います。三年生の皆さん。耳にタコができるほど聞いていると思いますが、「受験は団体戦、結果は個人戦」です。それぞれが当日全力を出せるよう、全力で、そして健康に気をつけて頑張っていきましょう。

3学年代表 川井 めい

令和5年 第14回南陽市防火標語 入賞作品

最優秀 2年 朝倉 琉衣 「ちょっとだけ」すぐ離れるな 火事の種

優 秀 2年 佐藤 壱冴 気をくばれ あなたの涙で 火は消せない

佳 作 2年 小梁川りお 一瞬で 危険にさらす 消し忘れ

## 生徒の活躍

令和4年度 南陽市いじめ防止標語 優秀作品

2年 齋藤 理紗 大丈夫 君の味方は すぐそばに

3年 舟腰 怜次郎 いじめSTOP 仲間とSTEP みんなでSMILE